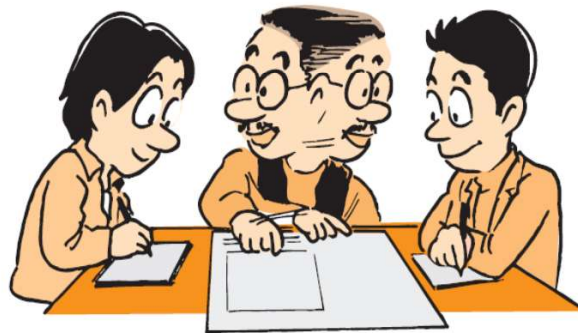


とやま市民討議会

「おらっちゃんのまちは、どんながけ？」

市民同士で、これからの富山について話し合いをしませんか？



2010年 市民討議会報告書

2010年 富山市民討議会報告書
作成 / JCI 社団法人 富山青年会議所
とやまの未来創造委員会
2010年8月

目 次

I 事業概要

- 1 本報告書の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 2 とやま市民討議会開催に至る経緯・・・・・・・・・・ P 2
- 3 とやま市民討議会の目的・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 4 とやま市民討議会開催概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2～P4

II 討議結果

1 討議テーマ1：環境にやさしく中心市街地を移動するには どうすればよいでしょうか？

- ① 各グループのまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5～P8
- ② 投票結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9～P10

2 討議テーマ2：富山市の観光客を増加させるためにはどうすればよいでしょうか？

- ① 各グループのまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11～P14
- ② 投票結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P15～P16

3 討議テーマ3：市民が参加しやすい魅力的なまちづくりとは？

- ① 各グループのまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17～P20
- ② 投票結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P21～P22

III アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P23～P29

<参考資料>

- ① 参加応募はがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P30
- ② 市民等議会開催案内書・・・・・・・・・・・・・・・・ P31
- ③ 参加決定通知書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P32
- ④ 情報提供資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P33～P43
- ⑤ 当日の写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P43～P44

I 事業概要

1 本報告書の位置づけ

本報告書は、社団法人富山青年会議所(以下、富山 JC という。)と富山市(以下、市という。)が共催で実施した。「おらっちゃんのまちは、どんながけ? ～とやま市民討議会～」(以下、とやま市民討議会という。)における参加者の討議結果について「2010 年度、とやま市民討議会」の実施に基づき報告書としてまとめ、とやまの未来創造委員会から市に対して施策への反映を求め提出するものです。

2 とやま市民討議会開催に至る経緯

私たちの住むまちを取り巻く状況は大きく変化してきています。変化していくまちを魅力ある「おもしろい」溢れるものとして次代に残していくためには、まちの未来を政治や行政だけに頼るのではなく、市民自らがまちの現状を理解し、魅力や可能性を共に考え、まちづくりに関心を持ち参加・参画し行動していく必要があります。また、社団法人日本青年会議所においても本年度、国民意識確立グループ、日本の未来選択会議にて行政と市民の意見集約の場作りとして、一定の目的に偏らない公平中立な唯一の団体が青年会議所として、「市民討議会」が推奨されています。

3 とやま市民討議会の目的

参加者に、主体的にまちづくりに取り組む意欲を持っていただきます。

4 とやま市民討議会開催概要

(1) 開催日時

2010年7月4日(日)10時～16時55分

(2) 開催場所

富山市役所 8階 大会議室

(3) 参加人数 25名(男性15名、女性10名)(応募者25名のうち3名欠席)

年代別

年代	男・女
20代	1
30代	2
40代	5
50代	5
60代	6
70代	2
80代	1
計	22

(4) 参加者選出方法

- 参加者は住民基本台帳から無作為で抽出します。
- 無作為抽出した18歳以上の市民700名へ参加の依頼を送付します。
- 希望者から抽選で25名の方々を参加者とします。

(5) 討議テーマ

- 1 環境にやさしく中心市街地を移動するにはどうすればよいでしょうか？
- 2 富山市の観光客を増加させるためにはどうすればよいでしょうか？
- 3 市民が参加しやすい魅力的なまちづくりとは？

(6) 討議進行方法

- 1 グループ分け 5人を1グループとした5グループに分ける
(当日参加人数が22名の為、1グループ 5,6 名の4グループとした。)
- 2 情報提供 行政の専門家からの情報提供する
- 3 自己紹介 一人ひとり自己紹介する
- 4 討議 テーマについて討議する
- 5 意見提出 各人それぞれ自分の思う意見を付箋に書いて討議ボードに貼る
- 6 まとめ 話し合いしながら付箋に似たような意見3つに分け討議ボードにまとめる。(「残したい意見」があれば残す。)
- 7 発表 討議ボードを使い、1グループごとに発表する
- 9 投票 1人5票の持ち票で、共感する意見にシールを使用して投票する

(7)当日のタイムスケジュール

タイムスケジュール

時間	所要時間 (分)	内容
8:30		会場集合
8:30～9:30	60	準備
9:30～10:00	30	受付
10:00～10:20	20	開会式(挨拶・趣旨説明・進行説明)
10:20～10:45	25	討議①グループ分け・情報提供
10:45～11:35	50	討議①自己紹介・討議・意見提出・まとめ
11:35～12:00	25	討議①発表・投票
12:00～13:00	60	昼休(昼食)
13:00～13:25	25	討議②グループ分け・情報提供
13:25～14:15	50	討議②自己紹介・討議・意見提出・まとめ
14:15～14:40	25	討議②発表・投票
14:40～14:55	15	休憩
14:55～15:20	25	討議③グループ分け・情報提供
15:20～16:10	50	討議③自己紹介・討議・意見提出・まとめ
16:10～16:35	25	討議③発表・投票
16:35～16:55	20	アンケート・事務連絡・閉会式
16:55		閉会

II 討議結果

テーマ毎の討議結果として、各グループのまとめや投票結果を報告します。

1 テーマ1:環境にやさしく中心市街地を移動するにはどうすればよいでしょうか？

①各グループのまとめ

グループ A

まとめ1	目的地に対するインフラ整備。 大回りの環状線、快速バスの整備。
まとめ2	公共機関などの情報提供図(ネットワーク図)。
まとめ3	パーク&ライドのルート整備と広い駐車場確保。
残したい意見	子供達も小さい時から公共交通機関と親しむ機会を多くする。

《討議中に出された個々の意見(要約)》

- ・快速バスがあると便利。
- ・公共機関だと時間がかかる。
- ・家、現場からすぐに目的地へ行きたい。
- ・30分以内に目的地に行きたい。
- ・バス代が高い。
- ・大回りの環状線
- ・職場の近くに公共機関がない。
- ・町村～新庄間の交通手段がない。
- ・自宅近くの駅に駐車場があれば、利用しやすい。
- ・パーク&ライド 駐車場が広い方が良い。
- ・情報整備
- ・公共交通機関の情報ネットワーク図(時間込み)があると便利。
- ・自分が住んでいる場所からの交通機関などのアクセス方法等の情報が不足している。
- ・タクシーでの乗合方式は出来ないのか。
- ・子供達の小さい時から公共交通機関を使って行動する学習。
- ・少数人数で移動した方が効率が良い。
- ・駐輪場が必要。
- ・レンタル自転車の目的は？
- ・自動車(スピード制限付)を貸し出す。

グループ B

まとめ1	歩きやすい、自転車移動しやすい、環境の整備。
まとめ2	セントラム・ライトレール等の増設。
まとめ3	公共交通機関を利用するに当たり沿線の駐車場、駐輪場の設置。 公共交通へのアクセスをよくする。
残したい意見	CO2を出さないという事が本当に環境にやさしいといえるのか？ CO2をためこむ木造住宅、建築等の補助。 住宅にひさしを付けると、クーラー等の使用が減る。

《討議中に出された個々の意見(要約)》

- ・安全なウォーキングコースを見つける。
- ・公共交通を利用する。
- ・夏の暑い時にも歩きやすいように街路樹で日陰をつくる。
- ・公共交通や自転車を利用する。
- ・公共交通機関の割引(利用すればするほど安くなる。)
- ・家族で楽しくセントラムに。
- ・ライトレール・セントラムを利用しやすくするために、拠点の駐車場の割引。
- ・中心市街地が移動するという事は考えられないのか？
- ・環境にやさしい JR,ライトレール等を利用するためには・・・。
 - ① 自転車移動するためには、駐輪場の整備が必要。
 - ② 盗難防止対策。

グループ C

まとめ1	ライトレールのエリア拡大 駐車場、駐輪場の無料化(駅近く)
まとめ2	路線バスの時間帯・乗車人数に応じて停留場以外でも乗り降り可。 ネオンライトなどで知らせる。
まとめ3	もっと IT を使った情報公開。
残したい意見	子供料金無料化。 体の不自由な方や、ケガ、病気の時に公共福祉を優遇(無料)

《討議中に出された個々の意見(要約)》

- ・CO2 の削減。
- ・車社会を見直す。
- ・公共交通の社会。駐車場廃止化。
- ・ライトレールは継続してほしい。
- ・夜遅くまでライトレールが使えるなら利用したい。
- ・ライトレール子供無料化。
- ・もっと IT を使おう。
- ・路線バスを時間帯、乗車人数に応じて、自由に乗り降りしたい。
- ・ライトレールの沿線、駅近くの駐車場、駐輪場の無料化。
- ・ライトレールを藤木方向にも。
- ・公報活動の不足。
- ・市民公報より、テレビ CM で流せば見る。
- ・市役所のホームページが見にくく、探したい情報にたどりつかない。
- ・補助のサービスを市民に知らせる努力をしてほしい。
- ・家の垣根に補助が出る？
- ・補助金関係の情報を小冊子にて各家に配布。

グループ D

まとめ1	富岩運河と松川の水辺交通とセントラムなどを結び市内巡り出来るまちづくりをめざす。
まとめ2	通勤・通学なども車移動を地域住民でシェアをしていくような活動。(パーク&ライドなど)
まとめ3	市内全域の公共交通の一律 200 円程に統一する。 プライベートカード方式など。
残したい意見	中心部以外の商店街との結びつきも忘れず、同じような活性化を望む。 (八尾町)

《討議中に出された個々の意見(要約)》

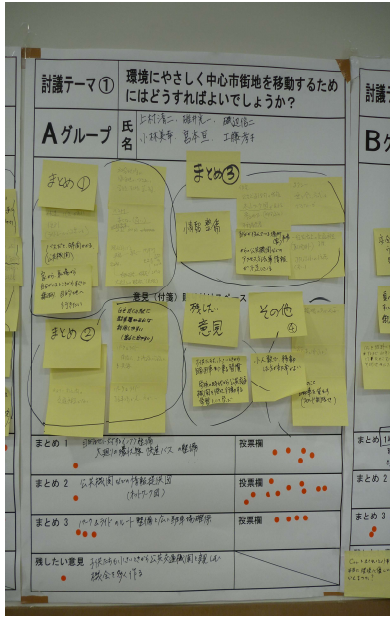
- ・路線バスの充実。高齢者、外国人に分かりやすく。
- ・ぐるりんミュージアムバス、あまり利用されてないのでは？
ミュージアム以外の利用者もできるような切りかえも。
- ・富山市の移動は 100 円バス。
- ・市内在住者に富山市内全域の地鉄・市内電車利用をプライベートカード方式(例1万)で一律 200 円にする。
- ・交通事故低減も考え、自転車道路の整備とマナー向上。
- ・ライトレールを利用するのも良いが、運河を歩いて駅北へ行くのも良いです。
- ・フラットな土地を生かし鉄道の整備
(歩きやすい・魅力ある特徴がある。)
- ・県、市連携の上観光施設の旧市街地への誘導。
- ・富山市の新しい図書館を中心市街地から少し離れた場所に建設する。
- ・富山市の近代美術館や科学館等の別館を郊外に建設。
- ・富山市が合併してから八尾町の店がどんどんシャッターおり困っている。
- ・八尾町の市街地にお店をもっているが、八尾町の活動の考えて頂きたい。

③ 投票結果

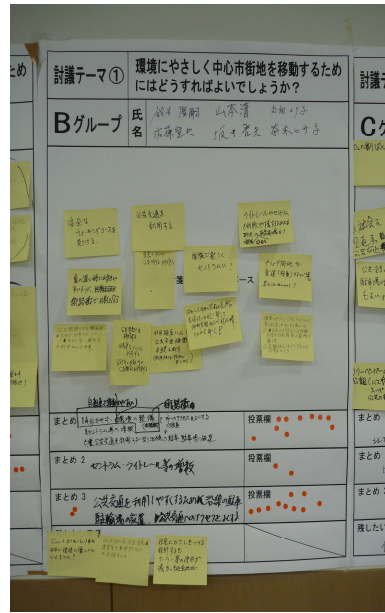
順位	まとめ(投票対象)	投票数
1	富岩運河と松川の水辺交通とセントラムなどを結び市内巡り出来るまちづくりをめざす。	14 票
2	市内全域の公共交通の一律 200 円程に統一する。 プライベートカード方式など。	12 票
	公共交通機関を利用するに当たり沿線の駐車場、駐輪場の設置。 公共交通へのアクセスをよくする。	12 票
4	公共機関などの情報提供図(ネットワーク図)。	11 票
5	歩きやすい、自転車移動しやすい、環境の整備。	10 票
	ライトレールのエリア拡大 駐車場、駐輪場の無料化(駅近く)	10 票
7	もっと IT を使った情報公開。	9 票
8	パーク&ライドのルート整備と広い駐車場確保。	7 票
	路線バスの時間帯・乗車人数に応じて停留場以外でも乗り降り可。 ネオンライトなどで知らせる。	7 票
10	目的地に対するインフラ整備。 大回りの環状線、快速バスの整備。	6 票

テーマ1各グループの討議ボード写真

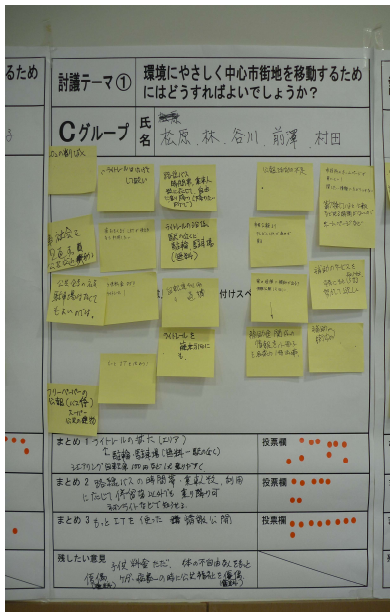
A グループ



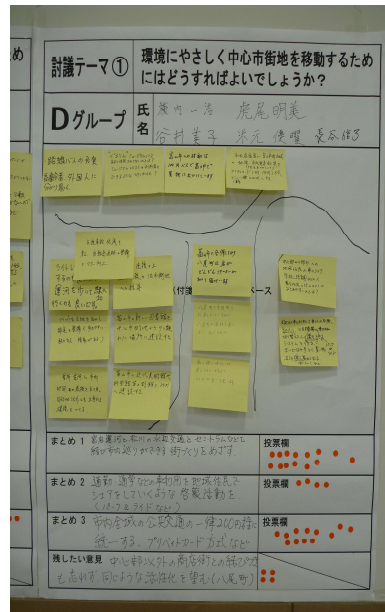
B グループ



B グループ



D グループ



2 テーマ2:富山市の観光客を増加させるためにはどうすればよいでしょうか？

①各グループのまとめ

グループ A

まとめ1	観光施設をつくる。 ・アウトレットモール ・医療 ・イタリア、スペイン風立ち飲みバー
まとめ2	ストーリーを作って富山に宿泊してもらおう。 ・演劇 ・立山黒部～富山市内
まとめ3	PR。 健康、パワースポット、穴谷の水、ホームページ、リピート施設、満足度を向上、ハイヒールで行ける 3000m登山。
残したい意見	

《討議中に出された個々の意見(要約)》

- ・観光のストーリーづくり。
- ・どうしても金沢に流れる。
- ・立山黒部から長野に流れないルートにする。
- ・夜のイベント。
- ・日本海側に演劇劇場。
- ・安いバー(立ち飲場)
- ・医療、福祉、薬の PR.
- ・海外向けのメイドインジャパンのアウトレット施設。
- ・外国人の検査施設を作ってもらおう。
- ・穴谷の水の PR、無料化。
- ・富山の二次産業。
- ・事業所税が高い。企業が逃げる。
- ・スキー場が弱い。
- ・地価を安く。

グループ B

まとめ1	自然と市民が交流できる体験型観光(富山は自然が売り)。
まとめ2	富山市(市内ホテル客室内)パンフレットの充実。 市民サイドへも配布。 パーキングエリア、レンタサイクル無料化。
まとめ3	富山は天候に左右されやすいので、天候に左右されない名所作り。 かくれが的な宿。
残したい意見	新しい観光名所作り。 テレビロケ地誘致。

《討議中に出された個々の意見(要約)》

- ・富山に対する印象。(緑、自然)
- ・駅前から見ると緑が見えない。
- ・レンタル自転車の利用方法を分かりやすく。
- ・富山の観光地(山、海)等、特別推進する。
- ・駐車所確保増。
- ・四季と楽しめる観光スポット。
- ・県外観光客に市内観光 PR の実施。
- ・富山は自然が売り。
- ・富山観光は天候に左右されやすい。
- ・新しい観光名所作り。
(本格的、体験型、参加型)
- ・城址公園の充実。
- ・テレビ番組(ドラマ)のロケ地として誘致する。
- ・食文化のアピール。
(有名シェフの誘致)
- ・アウトレットで消費する力が富山県民はないと思う。
- ・かくれが的な宿。

グループ C

まとめ1	新しく人が集まる場所を作る。 富山の魚、薬、立山を結び付けてPRする。
まとめ2	イベント、季節的なものだけではなく、通年的なものを企画していけばよいのでは。
まとめ3	現在あるものを上手に利用して、市民ひとりひとりが富山市の良い所を発信していけば良い (PR ボランティア募集、育成)
残したい意見	

《 討議中に出された個々の意見(要約) 》

- ・富山の薬、魚、立山を関連させ何か出来ないか。
- ・魚を売りにした場所・買えるスポット。
- ・セントラム、環水公園、富岩運河を結び付けて富山の特産、魅力をリンク。
- ・池田屋(西町)さんの観光対策が良いのでは？
(観光バスがよく来ている)
- ・イベント(季節)ものはあるが、常時のものがない。
- ・北海道のよさこい祭りのように、富山でももっと盛り上げていけば良い。
- ・駅周辺が暗い。
- ・1泊になると富山市限定にならない。
- ・松川の乗船料の見直し。
- ・現在あるものを上手に利用する。
- ・市民が住みやすい街になれば、観光に繋がるのでは。
- ・市民への情報発信
- ・市民自信が情報を知り「富山っておもしろいよ」と発信する。

グループ D

まとめ1	市独自の観光資源の有効活用。 (産業観光、体験観光)
まとめ2	コバンザメ型観光。 メイン観光の前後にイベント・広域観光をつなげる。
まとめ3	宣伝(草の根) キャラバン隊(ボランティア)観光ガイド研修(外国語など)
残したい意見	助成金の使い方を考えてほしい。 セミナー開催、産業観光向けの支援。

《 討議中に出された個々の意見(要約) 》

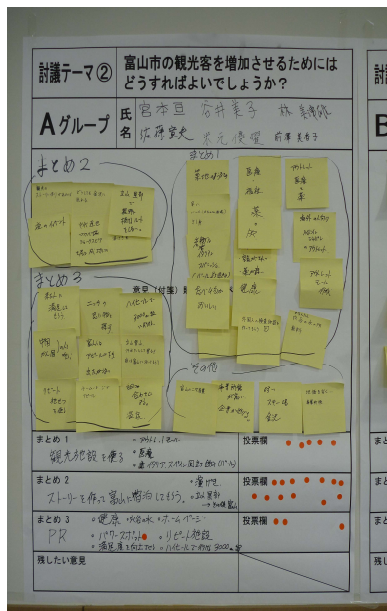
- ・市独自の観光資源(産業観光、体験観光)
- ・観光ルートのメニュー作り。
- ・日本一、世界一の薬草店を城址公園内につくる。
- ・子供たちに田園、漁業の体験観光。
- ・高齢者社会に伴うスローライフの滞在型観光。
- ・観光客を増やす必要があるのか？
- ・コバンザメ観光、メイン観光の前後にイベント・広域観光をつなげる。
- ・一か所だけの観光スポットではなく、連携したものに。
- ・キャラバン隊(ボランティア)観光ガイドの研修。
- ・キャラバン隊で金沢の旅行業者に富山観光を売り込む。
- ・県外の方々に富山の魅力をリサーチ。
- ・県との連携がどうなっているか分からない。
- ・助成金の使い方をもっと考えてもらいたい。

① 投票結果

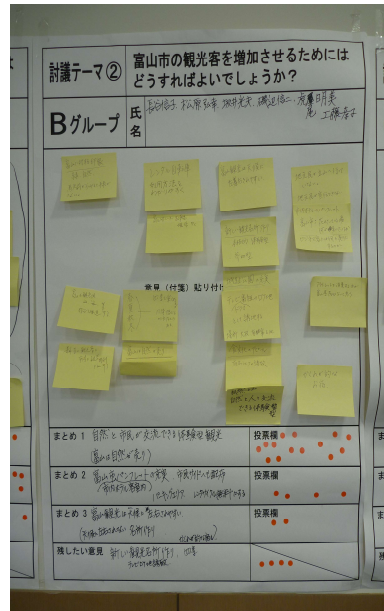
順位	まとめ(投票対象)	投票数
1	市独自の観光資源の有効活用。 (産業観光、体験観光)	17 票
2	自然と市民が交流できる体験型観光(富山は自然が売り)。	14 票
3	ストーリーを作って富山に宿泊してもらおう。 ・演劇 ・立山黒部～富山市内	13 票
4	現在あるものを上手に利用して、市民ひとりひとりが富山市の良い所を発信していけば良い (PR ボランティア募集、育成)	12 票
	宣伝(草の根) キャラバン隊(ボランティア)観光ガイド研修(外国語など)	12 票
6	イベント、季節的なものだけではなく、通年的なものを企画していけばよいのでは。	10 票
7	コバンザメ型観光。 メイン観光の前後にイベント・広域観光をつなげる。	9 票
8	観光施設をつくる。 ・アウトレットモール ・医療 ・イタリア、スペイン風立ち飲みバー	5 票
9	PR。 健康、パワースポット、穴谷の水、ホームページ、リピート施設、満足度を向上、ハイヒールで行ける 3000m 登山。	4 票
	富山市(市内ホテル客室内)パンフレットの充実。 市民サイドへも配布。 パーキングエリア、レンタルサイクル無料化。	4 票
	新しい観光名所作り。 テレビロケ地誘致。	4 票

テーマ2 各グループの討議ボード写真

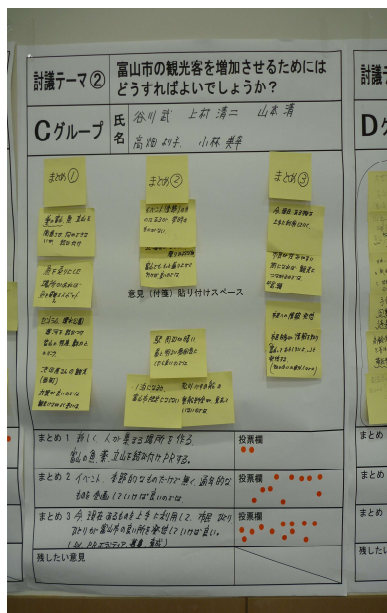
A グループ



B グループ



C グループ



D グループ



3 テーマ3:市民が参加しやすい魅力的なまちづくりとは？

①各グループのまとめ

グループ A

まとめ1	市民が安全に暮らしていけるような制度の確立。
まとめ2	自分たちがやらなくてはいけないという住民の意識向上・改革。
まとめ3	市民参加の事業仕分けがあってもいい。 市と市民がキャッチボールしやすいように。 (一方通行ではない、意見交換)
残したい意見	

《 討議中に出された個々の意見(要約) 》

- ・子供が安全に暮らしていけるような制度の確立。
- ・住みやすい安全性を考えた町づくり。
- ・老後の生活等の話し合い。
- ・安全、独居老人の保護。
- ・市民討議会のような校下の各地区レベルでの場があってもよいのでは。
- ・八尾の場合だと文化を守るため、みんなすぐ集まり参加する。
- ・市民参加の事業仕分けがあっても良いのでは。
- ・市内だと隣近所の付き合いが少ない。
- ・市民の意識改革をすれば、参加する。
- ・生活を守るための事業。(防犯、防災)
- ・市民生活の最低レベルの基準を上げる。
- ・情報公開。
- ・市政へ目安箱配置。(すぐやる課)
- ・市への要望。
(市民が困った時に、すぐ受け付けてもらえる窓口の公開)
- ・基本的人権に基づいた安全な生活の保障。
- ・市の広報に様々な意見が・・・。

グループ B

まとめ1	市民が町づくりに参加できるよう、情報提供を工夫してほしい。
まとめ2	それぞれの世代別に参加しやすいイベントを企画する。
まとめ3	子育て中のお母さん方が中心となり、仲間を作り、企画、実行出来る場を設ける。
残したい意見	市民が簡単な英語を話せるような英語を学ぶ場の提供。

《討議中に出された個々の意見(要約)》

- ・子育て中の親子が気軽に集える場所。
(仲間づくり、企画、実行する場)
- ・子育て中の親子のコミュニケーションの場の充実。
- ・出前講座をもっと気軽に使えるように。
- ・多くの人に情報が知れわたるものが必要。
- ・富山らしさを PR。
- ・富山市で行われるイベントを市民に伝える手段を考える。
- ・市民の隅々まで情報が行き届くような広報。
- ・高齢層が楽しめるイベントの企画。
- ・若い人も参加しやすい町づくり。
- ・若い人たちを取りこむ。
- ・昔の町の景観を再生させる。
- ・富山の祭りを、町づくりに役立てる。
- ・観光英語を全民参加で学ぶ。
- ・年に一回のゴミ回収、収集。

グループ C

まとめ1	市民が何を求めているかを集める仕組みが必要。
まとめ2	市政への敷居を低くする。 課題を周知し、市民会議で討議する。(定期開催)
まとめ3	この市民討議会を定例化し、市政への取り組みについてフィードバックする。(フォローアップ)
残したい意見	「魅力的なまち」とは何なのか？

《討議中に出された個々の意見(要約)》

- ・市民が何を求めているのか集める仕組み。
- ・市民討議会の定例化。
- ・討議の場を増やす。
- ・広報と通じて周知する。
- ・フィードバックが必要。
- ・市は本来受身のはず…。いろいろやってほしい。
- ・魅力なまちとは？
- ・市政への敷居を低くする。
- ・市民会議で討議。(月一回)
- ・討議課題の広報周知。
- ・市民の意識が低い。
- ・意見を直接的に討議、発表出来る場が欲しい。
- ・市議会議員の仕事かもしれない。
- ・市政を身近に。

グループ D

まとめ1	高齢者がいきいきと元気でいられるような環境づくり。
まとめ2	今回のような市民討議会を今後も行ってほしい。(年数回) (市民交流の源である)
まとめ3	自己啓発、職業訓練、仕事をもつ。 (市民が自発的にボランティアに参加できる方法)
残したい意見	老後のことを考え、多少の負担(税)があっても介護施設に入り易い体制にするべき。

《討議中に出された個々の意見(要約)》

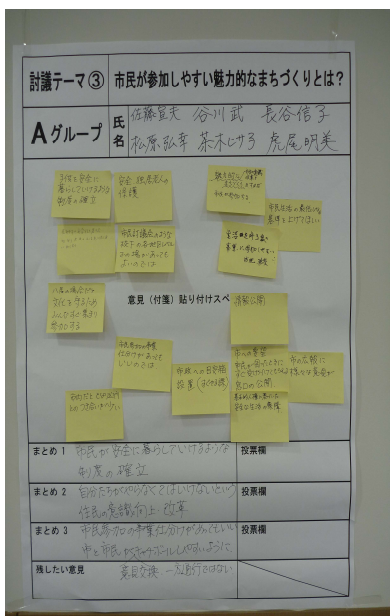
- ・自ら参加したいボランティア活動はどこに行き行って申し込むのか。
- ・「見守り隊」、ボランティア参加。
- ・市民参加しやすい企画、意図が却って分かりにくい。
- ・自らが思いついたボランティアを受け入れる所は？
- ・仕事をもつ・親の教育、しつけ・職業訓練・自己啓発。
- ・今回のイベント(市民討議会)を年に数回行ってはよいのでは。
(市民交流の源)
- ・市のイベントは魅力がない。
- ・市民が一体となって応援できるチーム(運動)。
- ・わざわざイベントにしなくてもよいのではないか。
- ・高齢者がいきいきと元気に暮らせるような環境づくり。
- ・介護施設は多いかもしれないが、すぐ出される。
- ・高齢者、定年後の自己啓発する気持ちはある。
- ・富山県は福祉が充実している方。
- ・高齢者を大事にする必要がある。
- ・村単位、町単位で・・・。
- ・隣近所の付き合いが少なくなってきた。

① 投票結果

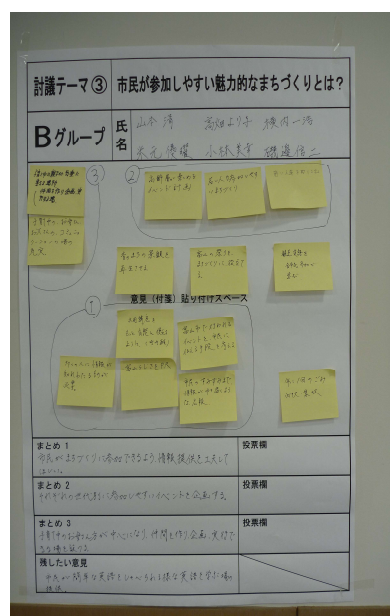
順位	まとめ(投票対象)	投票数
1	高齢者がいきいきと元気でいられるような環境づくり。	24 票
2	市民が何を求めているかを集める仕組みが必要。	14 票
3	この市民討議会を定例化し、市政への取り組みについてフィードバックする。 (フォローアップ)	13 票
4	市民参加の事業仕分けがあってもいい。 市と市民がキャッチボールしやすいように。 (一方通行ではない、意見交換)	10 票
5	市民が安全に暮らしていけるような制度の確立。	9 票
6	子育て中のお母さん方が中心となり、仲間を作り、企画、実行出来る場を設ける。	8 票
7	自分たちがやらなくてはいけないという住民の意識向上・改革。	7 票
8	市政への敷居を低くする。 課題を周知し、市民会議で討議する。(定期開催)	6 票
9	今回のような市民討議会を今後も行ってほしい。(年数回) (市民交流の源である)	5 票
10	市民が町づくりに参加できるよう、情報提供を工夫してほしい。	4 票

テーマ3 各グループの討議ボード写真

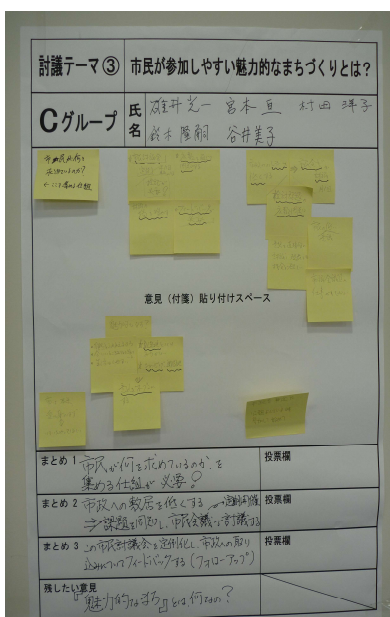
A グループ



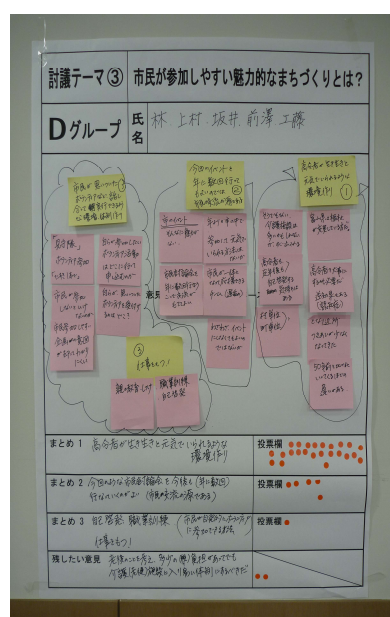
B グループ



C グループ

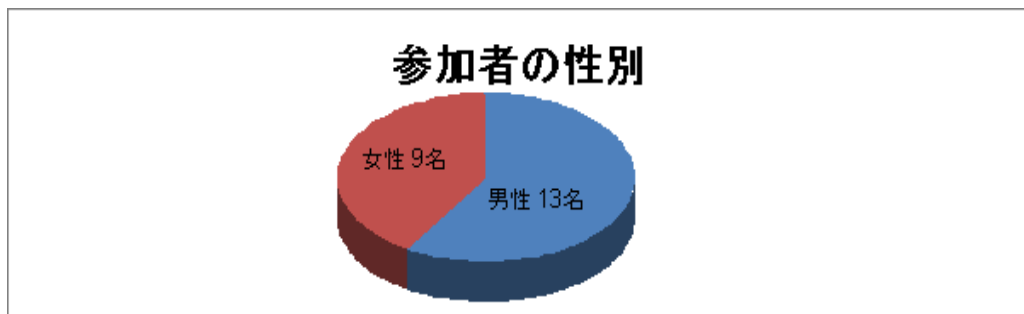


D グループ

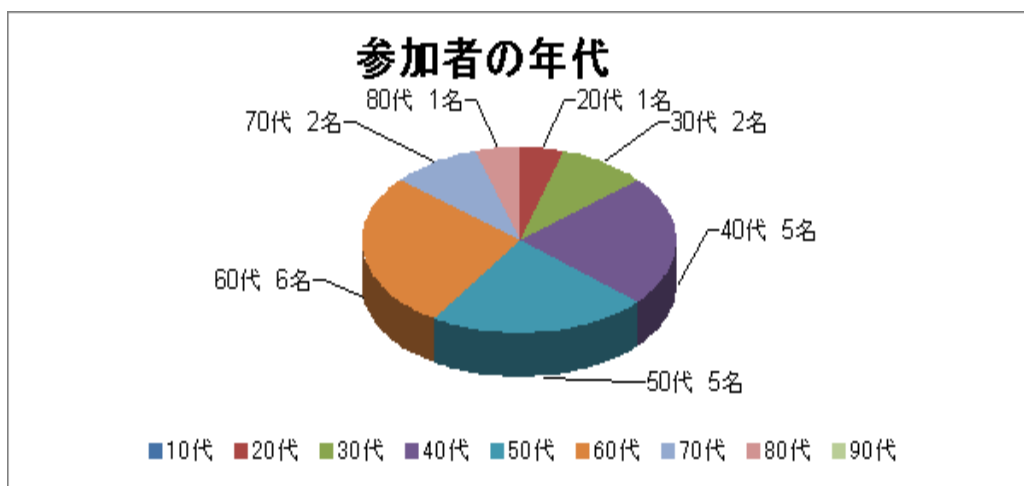


Ⅲ「とやま市民討議会」参加者アンケート結果

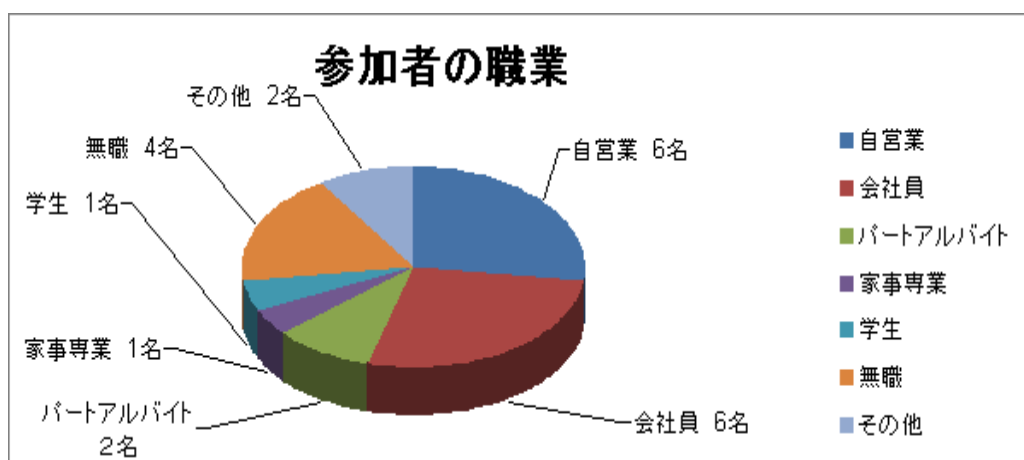
1.性別をお聞かせ下さい。



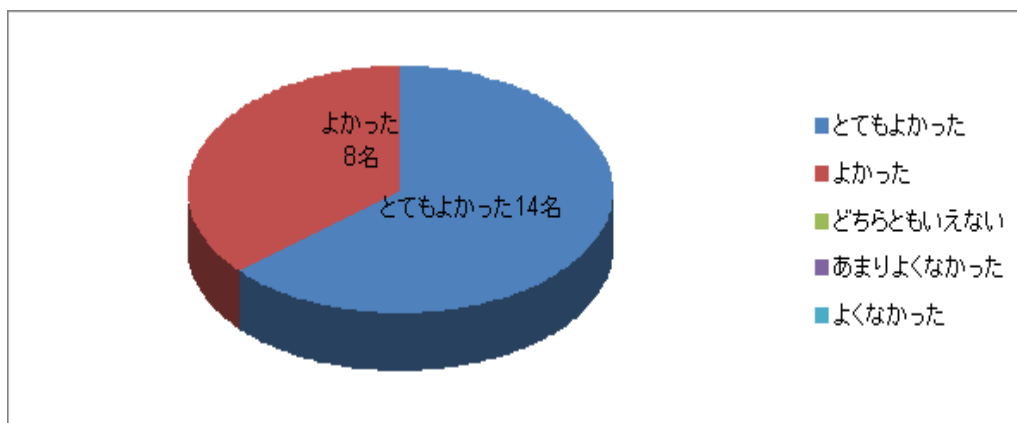
2.年代をお聞かせ下さい。



3.職業をお聞かせ下さい。

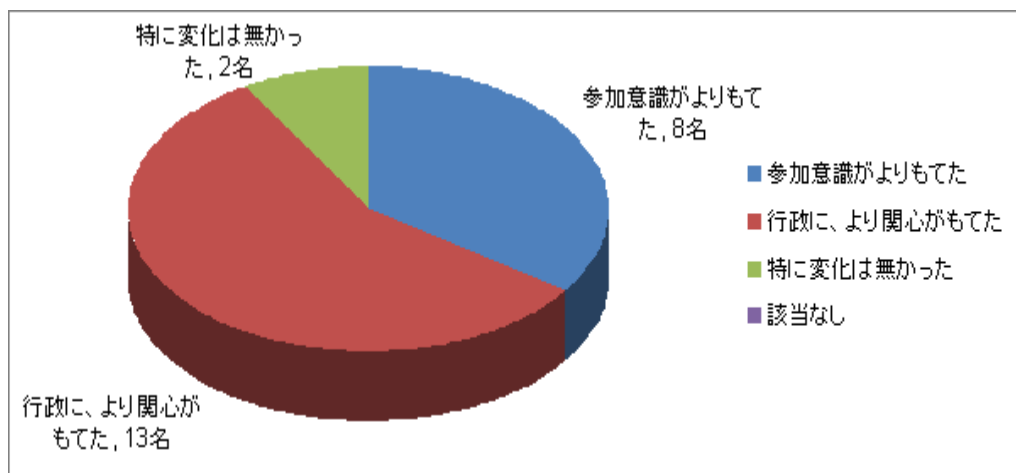


4.参加された感想をお聞かせ下さい。



- ・富山市に対する意見を言えて良かったと思う。
- ・自分の考えている意見を発表出来たことが良かった。
- ・いろいろな年代の方と、一つの議題に対して意見交換した事なんかなかったから。
- ・本当に参加したことを嬉しく思う。
- ・参加して何が出来るかわからなかったが、結果として良かった。
- ・自分自身が富山市を愛さなければ魅力のある富山市にならないことに気付いた。
- ・グループごと、いろんな意見がでておもしろかった。
- ・自分達富山市民が同じテーマでいろんな職種の方と話し合うことが有意義だった。
- ・若い人の参加があれば良かった。
- ・市政に参加したような気になった。

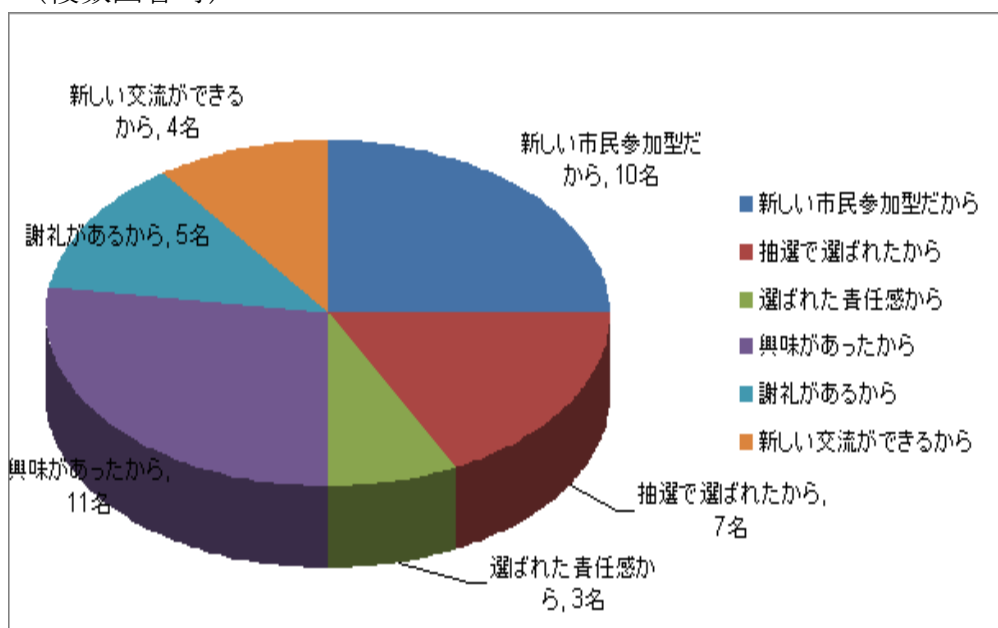
5.具体的な感想(意識の変化など)をお聞かせ下さい。



- ・普段、目にも止まらないことを見つめられるのではと思う。
- ・時間が短く感じられた。
- ・富山についての知識を広げることができた。
- ・関心を持つことが、向上に繋がる第一歩であると感じた。
- ・年代により、関心も多少異なる、高齢化社会である。
- ・多様な方の意見を伺うことが出来、参考になった。
- ・行政、青年会議所の方がいろんな活動、工夫をしている事を、改めて痛感できた。

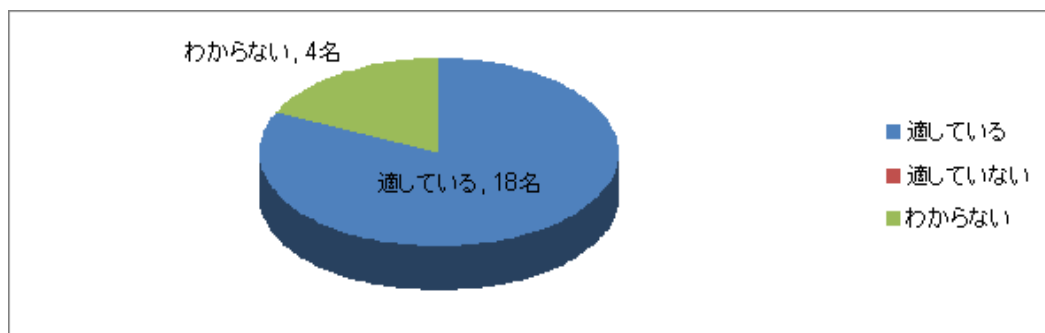
6.参加動機についてお聞かせ下さい。

(複数回答可)



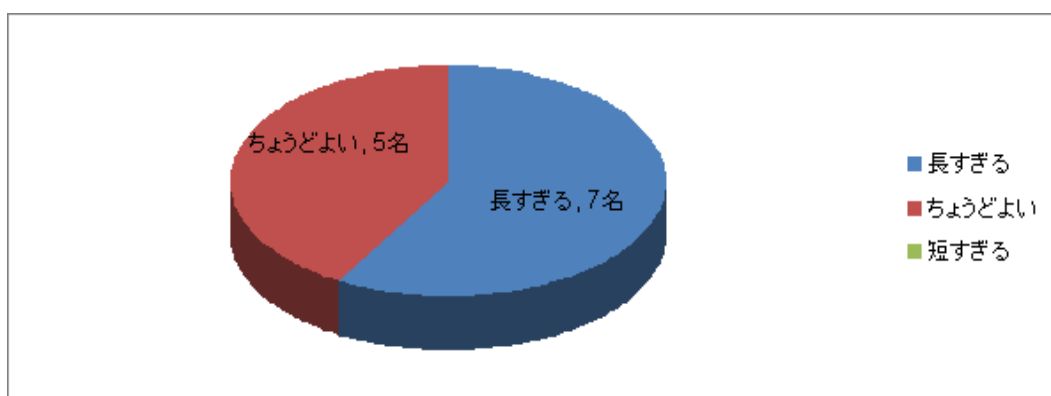
- 機会に対して、能動的でありたいと思った。
- 意見をのべれる場であった。
- 自分自身の老後について、心配で、このような会に出たほうが払拭できると思った。

7.市民討議会は、市民の声を行政に伝える手法として、
適していると思いますか？また、ご意見等があればお聞かせ下さい。



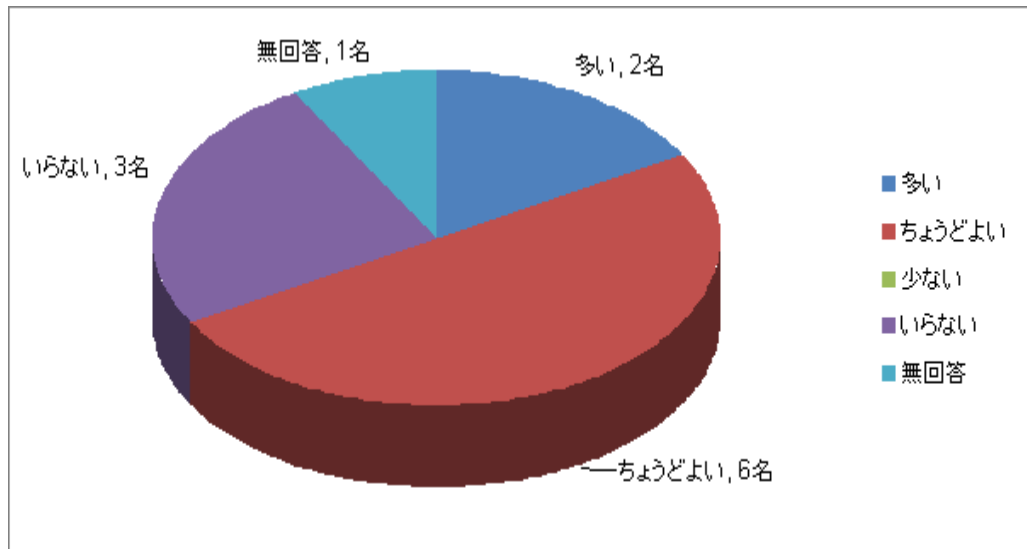
- ・適しているかは分からないが、このような場は必要だと思う。
- ・市と市民討議会の意見交換が成立すれば、適していると思う。
- ・何か少しでもかわれば。
- ・適していると思いたい。
- ・いろいろな意見があり、気付きが多い。
- ・もっと大勢の意見を、聞く形があっても良いかも。
- ・ガス抜き、アリバイ作りならば意味がない。必ず検証を。

8.市民討議会の時間の長さについて、お聞かせ下さい。

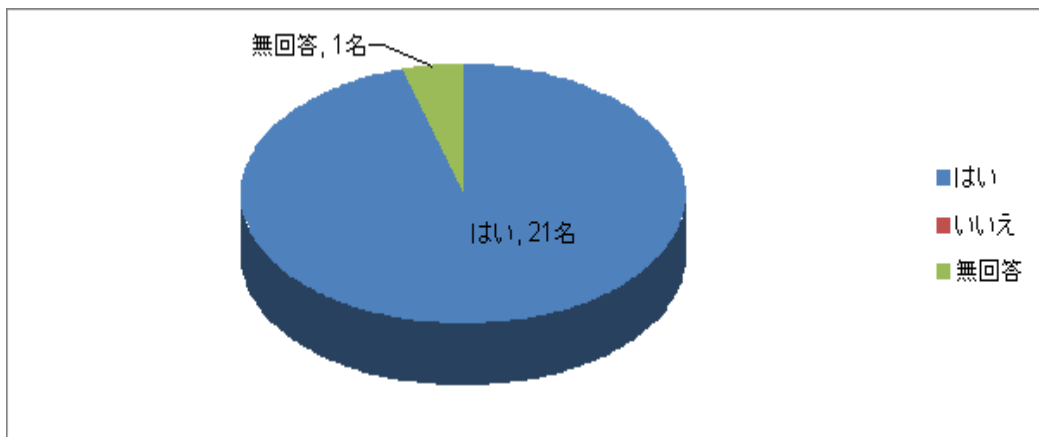


- ・議題は二つ程度がよい。
- ・3テーマでなく、2テーマにする。人を変えて、年二回ぐらいに。
- ・ちょっと長いかも。
- ・長いと思ったが、意外と時間が経つのが速く感じた。

9.謝礼について、お聞かせ下さい。



10.「とやま市民討議会」を今後も開催した方がよいと思いますか？



11.本日の市民討議会を通して感想・ご意見等があればお聞かせください。

- ・貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
- ・テーマに環境にやさしいとあったが、お弁当が残念。センスがない。
- ・色々な方の意見が聞けて良かった。
- ・もう少し、より具体的な内容がよい。創花的である。
- ・ぜひ今後も続けてください。
- ・市、青年会議所の方々も、参加しても良いのでは。
- ・また機会があれば、参加したい。
- ・このような場は、平和的なまちを育てて行くと思います。
- ・富山市民として、住みよい魅力あるまちにしたいと、感じる事が出来たことが収穫でした。
- ・このような小さな思いの集まりが、大きな力になると思います。
- ・フィードバックを是非お願いしたいです。
- ・参加できてよかった。
- ・是非定例化を希望します。
- ・年1～2回メンバー入れ替え。
- ・とても有意義な一日でした。
- ・議題が多すぎる。・市民参加の一つとして、継続した方が良いと思う。

① 参加応募はがき

平成22年7月4日(日)の市民討議会に

- ご出席 します。
- ご欠席

※討議会(10:00~16:55)の参加に問題ない方のみ
出席の返答をお願いします。

氏名

住所

連絡先

※ご欠席の方は、理由もお聞かせ下さい。

- 興味があるが、参加できない
- 興味がない
- その他(詳しく理由も下記にお書き下さい)

なお、参加定員に達した場合は、
厳選な抽選により参加者を決定致します。
結果は、6月中旬にハガキにて
ご連絡致します。



② 市民等議会開催案内書

とやま市民討議会

「おらっちゃんのまちは、どんながけ？」

市民同士で、これからの富山について話し合いをしませんか？



森 雅志 / 富山市長

このたび、富山市と社団法人富山青年会議所の協働により『とやま市民討議会』を開催いたします。この『とやま市民討議会』は、市民の生の声を幅広く把握し、その意見を本市のまちづくり施策に反映させることにより、行政に対する市民参画意識の高揚を図るために行うものです。市民の皆さんが、これからのまちづくりの課題や地域の身近なテーマについて討議していただくことにより、市民自らが誇りを持ち、誰からも「暮らしたいまち」「訪れたいまち」と思われるような魅力的で活力あるまちの実現につながるものと考えております。



藤井 義成 / 社団法人富山青年会議所 2010年度理事長

今までまちづくりへ参加する機会が少なかった、又は無かったという市民の皆様へ活動の場を提供するために、このたび富山市と協働で『とやま市民討議会』を開催致します。とやまのまちに興味を持ち、身近なテーマについて討議してもらうことで、自分たちの住んでいるまちに関心を持ち、自分たちの力で自分たちのまちを創っていこうとする市民意識の変革に繋げて頂きたいと考えます。この市民討議会が今後市民に浸透し、市民意識が変革することで「おもいやり溢れるまち」への実現に繋がっていくものと考えております。

市民討議会とは……

市民討議会は、市民と行政とが協働して『まちづくり』を考える手法です。無作為抽出された市民が、必要な情報提供を受けて地域問題など政策課題を討議し、意見を集約して合意形成を目指す市民参加のシステムのごとで、ドイツなどで行われている「プラークンクスツェレ(計画細胞)」という手法を日本向けにアレンジしたものです。

●とき 2010年 **7月4日(日)**
AM10:00~PM4:55 (受付AM9:30~)
※昼食は準備しております。

●ところ **富山市役所8階大会議室**
〒930-8510 富山市新桜町7-38 TEL 076-431-6111(代)
駐車場は市役所をご利用下さい。無料とさせていただきます。尚、交通費は自己負担をお願いします。

●参加条件 **定員 25名**

富山市の住民基本台帳から無作為で抽出した18歳以上の市民700名のみなさまに参加依頼させて頂いております。同封の返信用ハガキにて出欠の返信を頂き、参加を希望されたみなさまから厳正な抽選により参加者を決定させて頂きます。当日、AM10:00~PM4:55までのすべてに参加頂ける方に限らせて頂きます。参加者には当日の謝礼として5,000円を支給させて頂きます。抽選により参加確定された方には、6月中旬にハガキにてご連絡させて頂きます。尚、市民討議会は非公開とさせて頂き、討議された内容報告については後日、富山市役所と(社)富山青年会議所の両HPにて掲載させて頂きます。

お問い合わせ 社団法人 富山青年会議所 事務局 担当 / とやまの未来創造委員会 大澤・村橋

TEL **076-433-3334** FAX **076-433-7333**

URL / <http://www.toyamajc.or.jp/> e-mail / info@toyamajc.or.jp

主 催 / 富 山 市 ・ JCI 社団法人富山青年会議所

③ 参加決定通知書

平成22年6月吉日

市民討議会 参加者 各位

富山市長 森雅志
(社)富山青年会議所
理事長 藤井義成

市民等議会開催について

拝啓 皆様にはご清祥のことお喜び申し上げます。
さて、市民討議会の参加者が決定致しましたので、ご参加頂きたく
日程をお知らせ致します。

敬具

記

- 1.日程 平成22年7月4日(日)
受付開始 9:30
開 会 10:00
閉 会 16:55

※昼食はこちらで準備致します。

- 2.会場 富山市役所 8階 大会議室

※車でお越しの際は、市役所の駐車場をご利用下さい。

※会場までの交通費は、各自ご負担願います。

- 3.持物 筆記用具・印鑑

以上

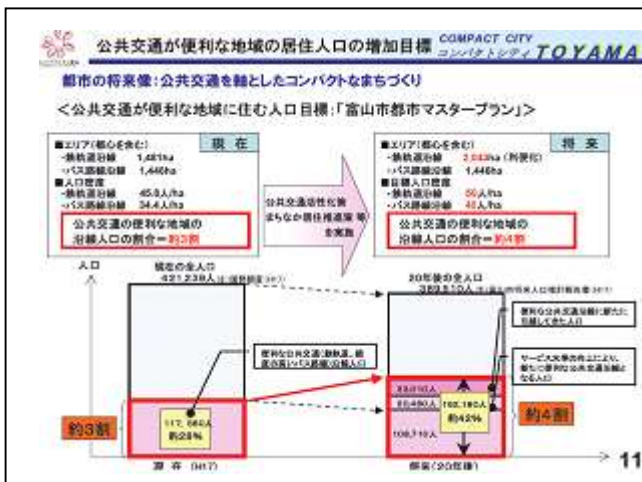
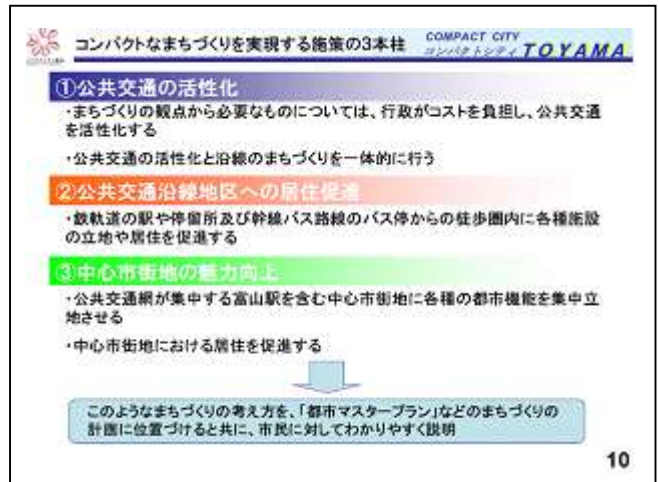
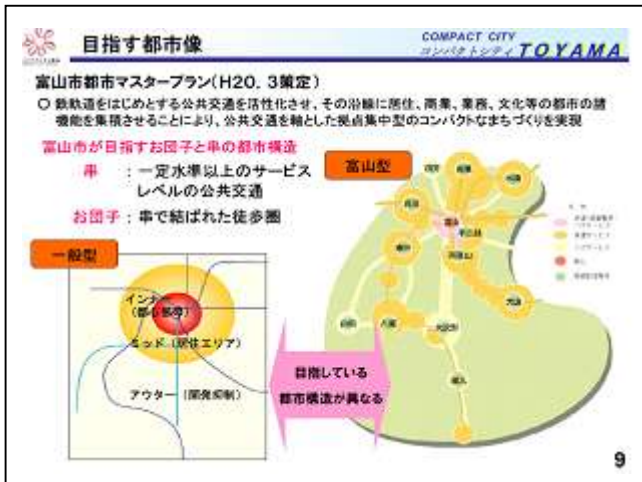
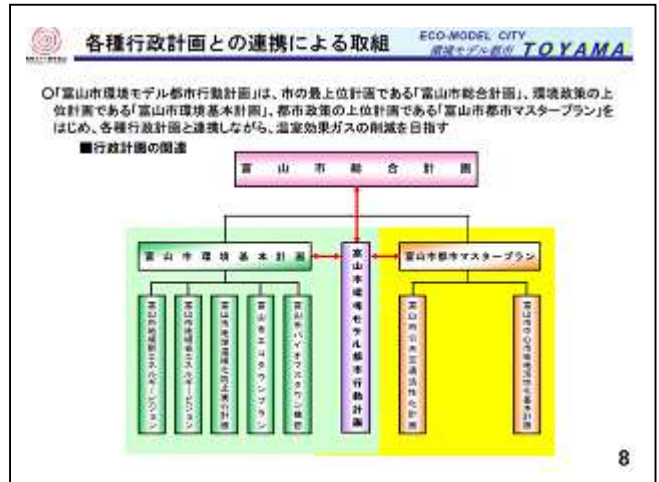
問い合わせ

(社)富山青年会議所 事務局
担当:とやまの未来創造委員会
大澤・村橋
電話:076-433-3334



④ 情報提供資料

テーマ1：環境にやさしく中心市街地を移動するにはどうすればよいでしょうか？



公共交通活性化の推進 COMPACT CITY
コンパクトシティ TOYAMA

(1-a) LRTネットワークの形成 ①富山港線のLRT化

利用者の減少が続くJR富山港線。公設民営の考え方を導入し、全国初の本格的LRTシステムに転じた取り組み

＜路線概要＞
 ○開業日：平成18年4月29日
 ○線長：7.0km（軌道区間 6.9km、軌道区間 1.1km）
 ○車両数：12
 ○乗車時間：7編成/20分（1編成）
 ○所要時間：約25分



■運行サービスの向上

■車両の低床化と電停のバリアフリー化
 ■トータルデザインの実現
 ■併用軌道導入（併用区間）

13


公共交通活性化の推進 COMPACT CITY
コンパクトシティ TOYAMA

整備効果

■開業前と比較して、利用者数は平日で約2.1倍、休日で約3.9倍に増加

【開業前2006年3月31日現在（1日平均利用者数）】
 平日 4,827人/日（開業前2,266人/日）
 休日 3,926人/日（開業前1,045人/日）

【富山ライトレール利用者数のほかの利用交通手段】



■日中の高齢者の利用が増加

■利用者のうち、約12%が自動車からの転換（転換による環境負荷の低減）

■沿線における観光施設などの入館者数の増加
 ○開業後、倉家入館者数は約3.5倍に増加（前年中間対比 H18/H17）

■沿線での住宅の新規着工件数の増加
 ○富山港市域では、住宅の新規着工件数が減少（H16⇒H20比 0.78倍）
 ○富山港線沿線では、住宅の新規着工件数が増加（H16⇒H20比 1.61倍）

■開業後の市民からの評価（市民アンケート）（H18.6月末実施）
 ○開業後に実施した市民アンケートでは、富山ライトレール沿線だけでなく、**市域全域で8割以上の市民が富山ライトレールを評価すると回答**

14

公共交通活性化の推進 COMPACT CITY
コンパクトシティ TOYAMA

(1-a) LRTネットワークの形成 ②市内電車環状線化

○中心市街地の活性化と回遊性の強化等を目的として、市内電車の一部を延伸し、環状線化を図るもので、全国初の上下分離方式により、市が軌道施設の整備を行う

LRTネットワークの将来像

○富山ライトレール 7.0km・地鉄市内電車 8.4km
 ○環状線化 10.0km -南北線延伸(環状) 0.2km
 ○上尾線導入(環状) 10.1km 合計 25.7km



○開業日：平成21年12月21日(水)
 ○線長：約2.0km（環状区間 約0.4km）
 ○車両数：環状区間2両（環状線）
 ○運行計画：環状区間に沿って約90分方向循環運行を予定
 ○乗車時間：環状区間約10分（環状線）
 ○所要時間：環状区間約10分（環状線）

15



富山駅周辺整備 COMPACT CITY
コンパクトシティ TOYAMA

(1-a) LRTネットワークの形成 ③南北路面電車一体化(構想)

○富山駅高架化後に、路面電車化した富山港線と市内軌道との接続を図る。
 ○駅前広場や駅南北道路等の整備による、駅周辺の南北一体的なまちづくりの推進を図る。



17

公共交通活性化の推進 COMPACT CITY
コンパクトシティ TOYAMA

(1-b) 公共交通の利用促進 ①JR富山本線活性化社会実験

○富山市が費用を負担して、運行本数を増便させるとともに、沿線のまちづくりを一体的に推進し、実験前と比べ、乗客が増えれば富山市の費用負担は軽減させる取り組み

<路線概要>

事業者：JR西日本
 区間：富山駅～稚谷駅
 区長：3.6.8km
 駅数：6駅
 日平均：H18年度 H19年度 I05年度
 乗車人数：2,471人 2,692人 2,696人
 （富山駅発）

■実施期間
 【第1期】平成18年10月21日～平成20年3月14日
 【第2期】平成20年 3月15日～平成23年春

■運行本数の増加

区間	実施前	第1期	第2期
富山～稚谷駅	36本	50本	60本
富山～稚谷駅	34本	50本	60本
富山～稚谷駅	21本	33本	23本



18

COMPACT CITY コンパクトシティ TOYAMA

中心市街地や公共交通沿線への機能集積の推進

(2-a) 都心及び公共交通沿線居住の推進 ① まちなか居住推進 ② 公共交通沿線居住推進

公共交通と居住を推進する地区の設定

- 全ての鉄軌道と利便性が一定水準以上のバスを「公共交通」として位置づけ、沿線に居住を誘導

○路線(合計18路線)

- 鉄軌道 6路線(市内の路線全て)
- バス路線 12路線(1日:80本以上)

・公共交通の沿線に公共交通沿線居住推進地区を設定し、住宅助成などによりコンパクトなまちづくりを推進

○エリア - 駅から500m / バス停から300m

市民向けの支援

戸建住宅・分譲マンションの取得に対する補助

【まちなか居住】	【公共交通沿線居住】
50万円 (円)	100万円 (円)
30万円 (円)	70万円 (円)

事業者向けの支援

共同住宅建設費補助

19

COMPACT CITY コンパクトシティ TOYAMA

中心市街地や公共交通沿線への機能集積の推進

(2-b) 中心市街地の活性化

中心市街地活性化事業(中心市街地活性化基本計画に位置づけた27事業)

○中心市街地の魅力を高めることで、まちなか居住を推進する

公共交通の利便性の向上

賑わい拠点の創出

まちなか居住の推進

三木柱

○ グラントプラザ整備運営事業

○ 経路調整り南地区第一種市街地再開発事業(大和富山店)

○ 城址公園整備事業

● 中心市街地活性化コアエリア誘導事業 ● 富山駅前近地区土地区画整理事業 ● 横町通り一丁目地区優良建築物整備事業 など27事業

20

ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 TOYAMA

住宅用太陽光発電の導入支援

① 太陽光発電システム設置補助事業

太陽光発電システムの新規設置者に対して、1件50,000円を補助

<補助制度の変遷>

- 平成12年度 設置補助事業 開始(平成14年度から 日入使・山田)
- 平成17年度で新エネルギー財団補助終了
- 平成18年度より市単独で補助
- 平成21年3月13日より、国・県の補助制度が復活(国:7万円/KW 県:1円5万円)
- 平成21年7月1日より、設置促進補助事業 開始

補助金交付件数(富山市)
累計 818件 (3,283kW)
1,277t-CO2を削減

富山市(日入使・山田)	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	累計
各年度設置件数(件)	10	21	44	63	40	113	126	80	54	267	818
各年度出力合計(kW)	36.1	77.7	171.6	257.8	171.9	476.8	499.3	274.5	191.0	1125.9	3282.6

21

ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 TOYAMA

住宅用太陽光発電の導入支援

② 太陽光発電システム設置促進補助事業

太陽光発電システムにより生じた余剰電力の、電力会社への売電量に応じて、補助金を交付するもの

<補助対象者>

太陽光発電システムを新規に設置し、平成21年7月1日以後に電力会社と系統連系契約を結んだ方

平成21年度実績
補助金交付件数 113件
合計52,987kWh(月平均133.7kWh)
CO2削減量21.6t

<補助金額>

補助金交付期間	補助金単価
~12ヶ月日	1.0円/kWh
1.3ヶ月日~2.4ヶ月日	7円/kWh
2.5ヶ月日~3.6ヶ月日	6円/kWh

年間売電量2,100kWhとして試算すると、
3年間の補助額は2,100(kWh) × (10+7+6)(円/kWh) = 46,200円

国:新たな余剰電力買取制度を開始! 11月1日より 24円/kWh⇒48円(100%固定) 22

ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 TOYAMA

グリーン電力証書について

グリーン電力証書とは・・・

グリーンエネルギーから得られた電気を、電気そのものと環境付加価値とに切り離し、環境付加価値を証書(グリーン電力証書)の形で電力需要家が保有することで、グリーンエネルギーによる電気(グリーン電力)とみなすもの

発電事業者又は自家発電

グリーンエネルギーからの電気 = 電気そのもの + 環境付加価値 = グリーン電力証書

電力需要家

グリーン電力

23

ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 TOYAMA

グリーン電力証書の需要創出モデル事業

事業内容

住宅用太陽光発電由来のグリーン電力(環境価値)を証書化し、オフセット(排出するCO2の埋め合わせ)を実施する地元企業などが使用電力量に応じてグリーン電力を購入することで、その資金がグリーン電力発電事業者へ提供されることにより、再生可能エネルギーの普及拡大を推進する

事業期間

平成21年度から3年間

しくみ

自家消費に合わせた買取(CPF/kWh)

グリーン電力証書発行実績

富山サウンダーバーズ
グリーン電力証明書発行:100(100%)にて
環境価値を創出して提供
4,559kWh (69,046円)

富山県
単売価格
富山市ソーラーへまらづくり推進協議会
買取
支払い
グリーン電力証書
発行
支払い(15円/kWh)

グリーン電力証書を購入する企業のある事業者

富山県へのマークアップ付イベント等での提供

24

住宅用省エネ設備等の導入支援 ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

富山市住宅用省エネ設備等導入補助金【新規事業】

平成22年4月1日（木）以後に、市内に自ら居住する住宅に省エネ設備等を新たに導入した個人に対して、助成金を交付するもの

補助対象となる省エネ設備等

太陽熱利用システム

太陽熱を給湯・冷暖房に利用するシステム。水や不凍液を熱媒として間接的に熱交換する「ソーラーシステム」タイプのもの

3万円補助

ヘルツストーブ
木質ペレットを燃料とするストーブ

エコウィル

家庭用ガスエンジン発電機。都市ガスやLPGガスを燃料とするガスエンジンで発電を行い、その際に発生する排熱を給湯などに利用するシステム

5万円補助

地中熱利用システム

地下の安定した温度の「地中熱」を利用し排気を行い、室内と外気の温度差の緩和と空気の浄化を行うシステム

エネファーム

家庭用燃料電池。都市ガスやLPGガス、灯油などから燃料となる水を取り出し、空気中の酸素と反応させて発電するシステム

ENE-FARM

25

小水力発電の導入 ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入と環境教育用施設として活用

	高西公園	東町・東新町公民館
水車形式	開放型下掛	S型チューブ
使用水量(m³/s)	0.8	2.5
有効落差(m)	2.0	4.48
最大出力(kW)	9.9	38
年間発電量(kWh)	84,300	689,200
年間電力使用量(世帯換算(軒))	23	191
CO2削減効果(t-CO2/年)	46.8	382.5

平成20年度 設置可能性調査
平成21年度 実施設計 NEPC補助
平成22年度 工事(2ヵ年) NEPC補助
平成23年度 運転開始

環境学習やエコツアーの拠点施設として活用を図る

26

自動車利用の見直し ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

公共交通網との相互活用により、まちなか移動の利便性を向上。

平成20年度 国(環境省) 環境保全型 地域づくり 推進支援事業 135,000万円

平成22年3月20日供用開始

民間事業者による施設整備と運営(広告収入)

- ・自転車ステーション 中心市街地に15か所
- ・15ステーションに計150台の自転車を配置

各ステーションに設置されている端末機器「ターミナル」、貸出受付や自転車の利用方法、他のステーションの駐輪状況などを確認することが可能。

27

自動車利用の見直し ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

システムの概要

- ①事前に登録を行い、クレジットカードで基本料金を支払うと、30分以内の利用であれば何度でも無料
- ②利用の際は、バスか、もしくはメンバーカードをラックにかざして開錠
 - ⇒利用料金が発生した場合には、登録したクレジットカードに請求
- ③携帯電話やパソコンを通じて、自転車の置き状況や料金情報をリアルタイムで見ることも可能

<基本料金>

	定期バス		7日バス
	バスカ	メンバーカード	
事前登録料(3月1日～3月10日)	250円/月	300円/月	-
オープン記念特別割引料(3月20日～4月30日)	400円/月	500円/月	400円
通常料金	500円/月	700円/月	1,000円

<利用料金> 定期バス、7日バスとも共通です。

一回の利用時間	料金
最初の30分まで	無料
31分～60分	200円
61分～90分ごと	500円

28

ECO-MODEL CITY **TOYAMA** 環境モデル都市富山

29

バイオマス燃料製造の導入支援 ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

CO2の削減とバイオマス資源の地産地消を推進

バイオマス資源

- 木材残材・間伐材(活用率70%)
- 製材残材・樹皮(活用率100%)

木質ペレット製造施設(年間1,000tのペレットを生産可能)

平成22年3月25日竣工

安定した供給

木質ペレットを使用した場合の年間CO2削減量 1,832 t-CO2

30

新エネルギー施設・設備の導入 ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

富山太陽光発電所の建設
(大規模太陽光発電所)



北陸電力(株)が太陽光発電施設を市内に建設
発電出力:1メガワット
(1,000キロワット)
総事業費 約10億円
(地域新エネルギー導入促進対策費補助金 活用予定)

【イメージ】
北陸電力株式会社 ← 創局的な支援 → 富山市

平成21年度 調整・公表
平成22年度 着工
平成23年度 運転開始

今回導入を予定している富山太陽光発電所の発電量は、約250軒分の年間電気使用量に相当。これによりCO2排出量を年間約300トン削減可能！

31

「チーム富山市」推進事業 ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

「チーム富山市」によるエコ活動の推奨

290チーム 18,081人
平成22年4月1日登録状況

「チーム富山市」の重点5項目

- 省エネルギー対策の推進
- 運輸・交通対策の推進
- 新エネルギー等の活用
- 5Rの推進 (Reduce 削減, Reuse 再使用, Recycle 資源利用, Refuse 要らないものを断る, Repair 修理)
- 森林保全・緑化の推進

H2O削減実績 5,471t-CO2
H22年度の主な取組

- チーム富山市フェアの開催
- 緑のカーテン事業
- エコライフファミリー推進事業
- 環境家計簿の配布
- 3R推進スクール事業

32

「チーム富山市」推進事業 ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

「チーム富山市役所」の取り組み

「マイはし」運動
食堂・売店の利用・弁当の購入の時には、割りばしを受け取らず、「マイはし」を使用する。
→年間25万膳を削減！ →3.75t-CO2

紙ごみの固形燃料化
焼却処分されていた紙ごみの分別を徹底し、紙ごみを固形燃料化する。
→年間20tのゴミ削減！ →317t-CO2

自動車通勤相乗り
OA機器節電の徹底(ボタン運動)
→年間約60万円の経費節約 →12t-CO2

33

エコライフの推進 ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

チーム富山市フェアの開催
チーム富山市の活動状況報告や環境啓発を目的として実施。
(今年度は平成22年8月28日(土)にグラウンドプラザで開催)

環境教育DVDの作成 (H21年度)
子どもたちへの環境意識の向上を目的として作成。富山市内の小中学校へ配布。

「チーム富山市」教育指定校事業
チーム富山市のモデル校を指定し、学校・地域で連携して温室効果ガスの削減に取り組む。

エコライフファミリー推進事業
民生(家庭)部門における温室効果ガスの削減を目的として、一般家庭や地域が省エネ活動を実施する。

環境家計簿の配布
環境モデル都市のPRと各家庭でのエコライフを推進するため、環境家計簿を作成し、富山市内の全世帯に配布。

3R推進スクール事業
市内の幼稚園や小学校で、ごみの減量化・資源化の意識の高揚を図るため、3R (Reduce: ごみの抑制 Reuse: 再使用 Recycle: 再生利用) の課外授業を実施。

34

施設の屋上・壁面緑化 ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

●市庁舎の屋上緑化や壁面緑化の実施により、環境に対する市民意識の高揚を図る。

屋上緑化 (H21.3~)	壁面緑化 (H21.12~)
●民間事業者による寄付により設置(約240万円相当)	●事業費:約2000万円(内、国補助:1000万円 富山県補助:1000万円)
緑化面積 358.5㎡ CO2削減効果 257kg/年	緑化面積
施設構築	光の広がり率 90.6% (プランター数360)
緑化パレット 600枚	光の広がり率 8.0% (プランター数30)
適合芝 約110㎡×1.5㎡/枚×20枚	CO2削減効果 250kg/年
工法 パレット状の植木基盤を体面上に敷き詰めるもの	緑化植物 耐寒性や環境耐性に優れ、美観の良いものを選定
	夏期 ヘアブラシ(ヒヨドリバナ)、ホワイトリッパ、ゴールドエンジェル、ハジケカササ
	冬期 赤緑の花(パンジー)、セイヨウシヤウナギ

35

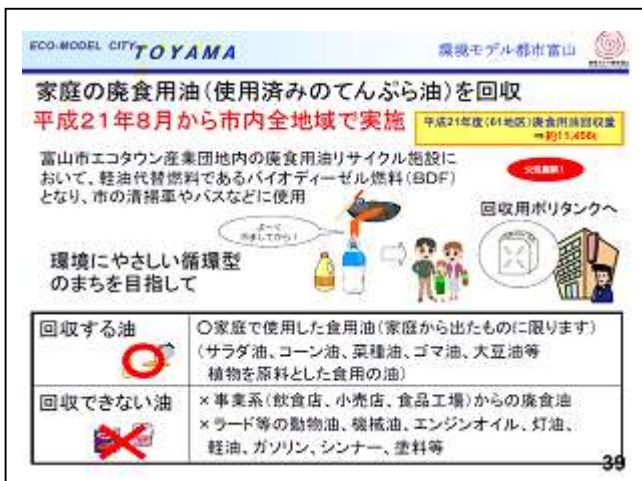
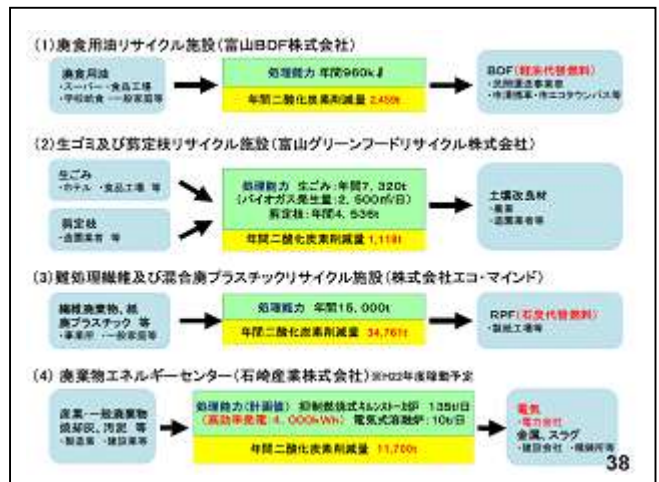
緑のカーテン事業 ECO-MODEL CITY 環境モデル都市 **TOYAMA**

つる性植物の苗を定植することにより、日差しを防ぐとともに室内温度の上昇を抑える『緑のカーテン』を市内の幼稚園・小学校等に設置し、子どもへの環境教育と夏場の省エネルギーを推進する。

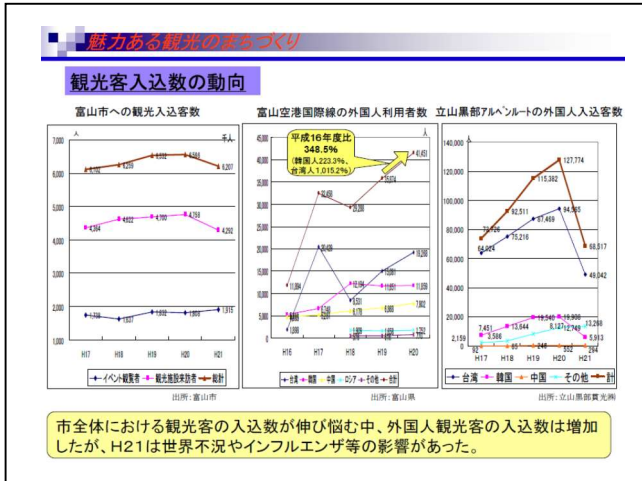
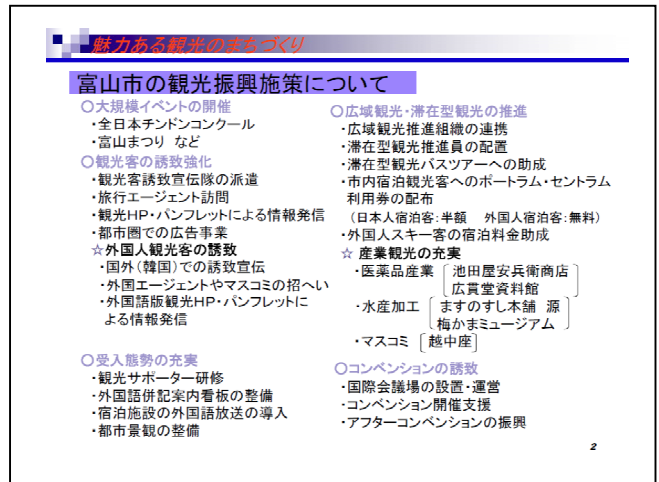
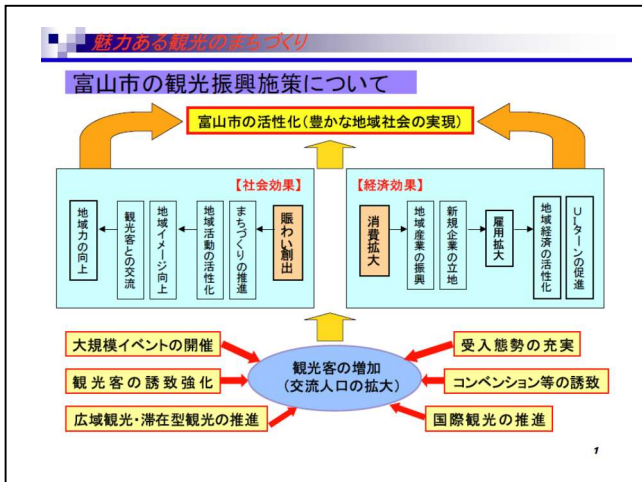


平成21年度: 市内幼稚園 1箇所 で実施
平成22年度: 市内で2箇所 実施予定
(幼稚園: 1 小学校: 1)

36



テーマ2：富山市の観光客を増加させるためにはどうすればよいでしょうか？



魅力ある観光のまちづくり

観光客の誘致強化

東海北陸道全線開通に伴った国内客誘致

観光展への出展や旅行エージェンツ訪問により、本市の魅力ある観光をPRする。全線開通した東海北陸自動車道が活用できる中京地区に対して重点的な誘致宣伝活動を行う。

- 観光客誘致キャンペーンの実施【平成21年度～】
 - ・県や県内自治体と連携し、都市圏での大規模広告やネット等を利用し、効果的・効率的な観光PRを実施する。
- 都市間交流の推進
 - ・岐阜市との観光・物産面での交流を進め、東海地方からの誘客を図る。
 - ① 観光物産交流展の開催
 - ・4月10日(土)・11日(日)富山市 富山駅北親水広場等(鶴岡の実演・観光物産展)
 - ・7月31日(土)【草津城址後継地】 柳ヶ瀬(おわらまち流し・観光物産展)
 - ② 観光交流の推進
 - ・岐阜市からの観光ツアーの誘致推進のため、岐阜市発着の観光バスツアーに助成する。
 - ・富山市民を対象にした鶴岡乗船料の割引に助成する(岐阜市)。(22年度)
- 富山ブランドの発信
 - ・富山市の特産品や土産品などを展示販売することで、特産品のPR及び販路拡大を図り、合わせて富山市の知名度の向上と富山ブランドの推進に努める。
 - ・3月 富山まつり名古屋2011・久屋大浦公園(観光物産展)

魅力ある観光のまちづくり

外国人観光客の誘致

(1) 誘致の推進

- 富山市・南砺市・飛騨市観光都市連合の形成【平成17年度～】
 - ・3市が連携して、各都市の持つ魅力をPRし、韓国からの観光客の誘致を推進する。
 - ・韓国のエージェンツやマスコミを招へいし、3市の魅力ある観光資源を取材し、旅行商品の販売や飛越地域をPRする記事を新聞雑誌に掲載してもらい、また、韓国での観光説明会や観光プロモーションも併せて実施する。【平成19年度～】
- 観光PR映像の制作
 - ・観光スポットや景観、行事、味覚、文化などを紹介する日・英・中・韓4ヶ国語対応の映像DVDを作成し配布した(19年度)。さらに、22年度はロシア語にも対応したDVDを作成する。
- 外国人観光客の滞在促進
 - ・市内スキー場周辺のホテル・旅館で組織する組合等に【平成17年度～】
 - ・外国人スキー客宿泊料の一部助成を行い、スキー場と周辺宿泊施設の活性化を図る。
 - ・市内に宿泊する外国人観光客へのポータル・【平成21年度】**事業の強化**
 - ・有(21年度・月平均45枚の利用)や、観光

(2) 受入体制の整備

- 外国語表示観光案内板の整備【平成18年度～】
 - ・市内観光施設に5ヶ国語表示の案内看板を設置する。
- 外国語テレビ放送の導入促進

魅力ある観光のまちづくり

富山ならではの資源を活用した観光の推進

- 滞在型観光ツアーの誘致促進
 - ① 市内に宿泊する観光客に対し、ポータル及びセントラムの半額利用券を配布する。【平成21年度 事業の拡充】
 - ② 本市の観光イベントへの観覧を目的とした滞在型観光バスツアーに対し、ツアー費用を助成すること【平成21年度】の負担を軽減し、滞在型観光客の誘致を促進する。
- 観光費用の負担軽減と利便性の向上
 - ・わかりやすい公共交通機関の案内や、運賃・入館料負担の軽減とお得感を提供する観点から、「公共交通1日フリー【平成19年度～】」
 - ・「立山博物館共通バスポート」を企画・販売する。

魅力ある観光のまちづくり

コンベンション等の誘致

- **富山国際会議場の運営**
本市におけるコンベンション推進の核となる富山国際会議場の設置・運営を行う。
- **コンベンションの開催支援** 【平成22年度 拡充】
交流人口の増加等を図るため、一定規模以上のコンベンションの開催に対して、参加者の宿泊料やシャトルバス借上げ料の補助、サポーターの派遣を行うとともに、開催準備金を融資する。
→21年度は85件、延べ39,267泊に対して補助
- **スポーツ合宿等の誘致** 【平成22年度 拡充】
スポーツ系・文科系合宿を誘致するために、合宿参加者への宿泊料補助を行うとともに、練習施設等を紹介するHPの作成や、大学生協等合宿を取り扱う旅行エージェントへの誘致活動を実施する。
→21年度は23件、延べ6,455泊に対して補助
- **アフターコンベンションの促進** 【平成20年度～】
県外からのコンベンション参加者が気軽に市内観光をできるよう、観光タクシーの利用に対して、一部助成を行う。

7

魅力ある観光のまちづくり

シンボルロード『城址大通り』の景観向上 【平成19年度～】

- **とやまスノーピアード「ホワイトイルミネーションとやま」の充実**
「とやまスノーピアード」において、華やかな光の演出で冬の夜を彩るホワイトイルミネーションを充実させるため、21年度にLEDを導入するとともに、CiC前広場や城址公園南側広場にLEDイルミネーションを設置することにより、街の賑わいを創出する。 【平成21年度 拡充】
- **パナーフラッグ(小型の懸垂幕)の掲出**
パナーフラッグを本市の四季のイメージやイベントをモチーフとしたデザインで、年間7種類掲出する。21年度はすずかけ通りと路面電車環状線沿いに延長した。
- **フラワーハンギング(街頭の花かご)の整備**
市民愛好家の意見を採り入れた色とりどりのフラワーハンギングを設置する。
- **広告付きバス停の整備**

8

魅力ある観光のまちづくり

外国人観光客へのサービス向上

- **ポートラム・セントラムの無料乗車券配布**
市内に宿泊する外国人観光客へのポートラム・セントラムの無料乗車券配布
- **外国語表示観光案内板の整備**
5ヶ国語表示の案内看板を設置 (日、英、中、韓、ロ)
板面の例
- **外国人スキー客宿泊料の一部助成**
- **外国語テレビ放送の導入促進**
市内宿泊施設が設置する外国語テレビ放送の導入に一部助成
- **観光施設や空港等への交通費の一部助成**

9

魅力ある観光のまちづくり

滞在型観光の推

- **富山の魅力発信**
温泉・森林浴・海の幸・葉膳等富山に滞在して楽しめる癒しのスポットを発信

市街地からわずか30分で楽しめる温泉

街なかの癒しのスポット 松川べり

立山山麓は北陸初の森林セラピー基地に認定

富山ならではの海の幸 シロエビ

10

魅力ある観光のまちづくり

富山ブランド首都圏PR
豊かな自然や文化、特産品などの富山ブランドを首都圏において広く知ってもらう。

東京の銭湯を～富山～で飾る ホットして富山市
銭湯の湯船の背景を「立山連峰」など富山の壮大な自然を描いたものにする事で、入浴客に富山市を身近に感じてもらう。

11

Blank page for content.

テーマ3：市民が参加しやすい魅力的なまちづくりとは？

イベント以外で 市民の方々が参加できる事業

- ① パブリック・コメント手続制度
- ② 出前講座の開催
- ③ 自主防犯組織の支援
- ④ 自主防災組織の推進
- ⑤ 「チーム富山市」の推進

8/5/2010 2

①パブリック・コメント手続制度

富山市が市政計画を公開し、それに対し市民が意見する

- ・富山市シティプロモーション推進計画(案)
- ・富山市子ども読書活動推進計画(案)
- ・市の「木」「花」「草花」の制定
- ・富山市障害福祉計画(案)
- ・富山市高齢者総合福祉プラン(案)
- ・富山市工業振興ビジョン(案)

富山市民

← 市政公開(富山市ホームページ)

→ 意見(郵便・電子メール・FAX)

← 回答(富山市ホームページ)

富山市・担当課

8/5/2010 3

②出前講座の開催

市の職員が皆さんのところに出向き、行政情報等を積極的に提供しながら市政への理解を深めると共に、これからのまちづくりを共に考えるものです。

全140講座

- A. まちづくり・都市づくりについて
- B. 環境について
- C. 福祉について
- D. 健康・保健について
- E. 子育てについて
- F. くらし・産業について
- G. 教育・文化・スポーツについて
- H. 消防・防災・救急・交通安全について
- I. 行政・情報公開・財政・市税について
- J. 戸籍・国民健康保険・年金・後期高齢者医療制度について
- K. 広報・国際交流・人権・男女共同参画について

1. 子育て支援について
2. 正しい食習慣は乳幼児期から
3. 乳幼児の子育て
4. 小・中学生の子育て

- ・小・中学生の心から
- ・学童期の子育て
- ・思春期の子育て

8/5/2010 4

③自主防犯組織の支援

安全なまちづくりのため地域で自主的に防犯活動に取り組んでいる組織に対し補助金を交付することにより、自主防犯組織の育成・支援に努めています。

活動内容	補助対象
・防犯パトロール (通学路や公園等での安全見守り活動を含む)	・帽子、ジャンパー、腕章等の被服購入 ・ライト、乾電池、防犯ブザー等の消耗品 ・青色回転灯車両パトロール経費 ・パトロール隊保険料

8/5/2010 5

④自主防災組織の推進

地震等により災害が発生したとき、消化、救助に向かおうとしても、建物の倒壊による交通遮断や火災等の同時多発等により、行政や防災機関が十分に対応できません。このようなときには、「みんなのまちは、みんなでももる。」という精神で結成された自主防災組織の活動が、被害の拡大防止に大きな力となります。

＜平常時活動内容＞

防災知識の普及、地域の安全点検、寝たきりや体の不自由な人などの把握、防災訓練の実施、防災資機材の整備

＜災害時の活動＞

出火防止の呼びかけと初期消火活動、寝たきりや体の不自由な人などの状況確認、避難経路、避難場所への誘導、負傷者の応急手当て、医療機関への搬送、被害情報の収集と消防署または地区センターへの伝達、届けられた救援物資の配給や炊き出しなど

8/5/2010 6

⑤「チーム富山市」の推進

団体・事業者などが自主的にチームを結成し、具体的な温暖化防止行動とその目標を掲げ、「チーム富山市」のメンバーとなって取り組むことで、市民総参加の行動へと広げるとともに、温室ガス削減の成果を上げていく。

＜事業期間＞

平成20年から当面5か年の継続事業として予定

＜今年度の活動計画＞

1. チーム富山市フェア・成果報告会
2. 「チーム富山市」教育指定校事業
3. 「チーム富山市」エコライフファミリー推進事業

8/5/2010 7

⑤ 当日の写真

市民討議会タイトル



会場の様子



情報提供の様子①



情報提供の様子②



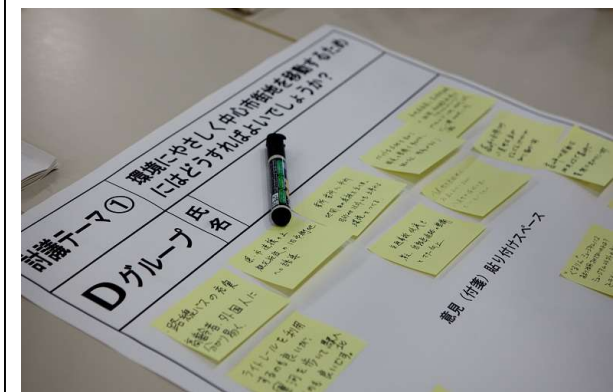
討議する参加者①



討議する参加者②



討議シート



発表の様子①



発表の様子②



討議結果の掲示



投票する参加者①



投票する参加者②

